

# 一般質問 町政を問う

自民党 公明党 自由民主党 改革党 共産党 日本共産党 市民クラブ 自治の会

質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文をそのまま掲載しています。

## 滞納問題、対策と今後の対応について



町長 さらなる収納率の向上を目指す

石川 修 議員（自民）

**質問** 行政サービスを受けているにもかかわらず、町税や使用料等の納付を免れようとすることは、公平・公正の原則から容認できるものではない。そこで、次の2点を町長・教育長に伺う。

**問①** 部制導入を契機に、各部長を中心とした滞納整理プロジェクトチームを早急に立ち上げるべきと考えるが。

**町長** プロジェクトチームの設置は、今後の課題としたい。

**問②** 各種の滞納者を一覧表を作成し、

方策・目標を決め、滞納整理を図るべきでは。

**町長** 町税と使用料等では滞納整理の方法が異なり、また、個人情報保護の観点からも、一覧表の作成は難しいと考えている。

なお、滞納整理については、現在目標を定め、計画的に取り組んでいる。具体的には今年度から収納率向上に実績のある町職員OBを採用するなど、さらなる収納率の向上を目指し、意欲的に取り組んでいく。



箱根ヶ崎駅自由通路

## いじめ防止の体制づくりを



小川 龍美 議員（公明）

教育長 第三者からの視点も研究したい

**質問** 昨年11月に発表された、全国の学校で認知されたいじめは約12万5千件あった。最近、ネットを使ったいじめも増えている。いじめ撲滅には、早期発見・早期対応といじ

めを発生させない児童生徒の自発的な取り組みが重要となる。そこで、いじめサインの総点検、子どもや親のSOSに対応する「いじめレスキュー隊」・子どもの自発的な「いじめをなくす委員会」の設置など、いじめ防止の体制づくりが重要と考えるが、所見を伺う。

**教育長** 新定義によるいじめの発件数は、小学校で4件、中学校で10件との

報告を受けている。ご提案の「いじめレスキュー隊」など第三者機関からの視点は、いじめ防止に大変重要な施策であると受け止めている。実現までには地域性など様々な課題もあるが、研究する余地は十分あるものと考えている。

こんな質問もありました

介護予防に聴覚検査を。

町長 今後の研究課題。

## 食の安全と町の農業振興について

大坪 国広 議員（共産）

町長 学校給食にはできる限り国内産を使用



羽村・瑞穂地区学校給食組合の給食センター

**質問** 中国産冷凍ギョーザによる中毒事件は、輸入の安全検査体制の弱さとともに、6割以上を外国に依存する日本の食糧事情の危うさを浮き彫りにした。次の4点について町長の所見を伺う。

**問①** 輸入食品の安全確保に政府が責任を果たすよう町としても要請するべきと思うが。

**町長** 国の取り組みを見守っていく。

**問②** 学校給食や保育園給食を心配する声もあるが。

**町長** できる限り国内

産を使用している。魚介類やナッツ類などにごく一部外国産もあるが、食品衛生法の基準に合ったものを使用している。

**問③** 町の農業の現状と遊休農地対策は。

**町長** 農業者の高齢化による労働力不足などにより、遊休農地は増加傾向にある。対策としては、事業拡大の意欲ある農業者に農地斡旋を行い、賃借の促進に努めている。

**問④** 後継者を含む担い手の確保・育成対策は。

**町長** 都の後継者セミナーなどを活用し、支援していく。

こんな質問もありました  
妊婦検診に公費助成の拡充を。

町長 今のところ考えていない。



セーフティー教室(四小)